



4%を賃上げ要求額として取り組むと強調する、川本委員長

12月10日、東京都で「自治労本部春闘討論集会」が開かれた。川本執行委員長は、2016春闘について「自治労として、総合的見直し」によるマイナス分や格差是正分として4%を賃上げの要求基準とする

4%の賃上げ「したたかに」

中央本部春闘討論集会

述べたうえで、「要求実現にむけ、『したたかに』たかいを進めよう」と2016春闘への結果を求めた。

また、「あらゆる場面で政治闘争の重要性や情勢を共有・再確認し、『えさき』支持の拡大にむけて今一度取り組みを強化しよう」とあいさつした。

2015賃金確定闘争

2・10 第2次統一行動日

道本部統一行動日・前段戦術

- ① 組合旗掲揚 1月27日(水)～闘争終結まで
② 腕章着用 1月27日(水)～闘争終結まで
③ 超勤拒否 2月9日(火)～2月10日(水)
④ 出張・諸会議拒否 2月10日(水)
⑤ 道本部統一行動日 2月10日(水)

道本部は、12月17日に拡大闘争委員会を開き、2015賃金確定闘争について、引き続き「早期条例改定・差額支給」を求めていくとする方針を決めた。

人事院は2015年8月6日、月例給・一時金とも2年連続で引き上げる勧告を行ったが、政府・与党は首相の外交日程などをたて、年内の臨時国会開催を見送った。

これらの状況を踏まえ、改めて地方公務員法の給与決定の原則に基づき自主的・自立的な判断と、国に遅れることなく「早期条例改定・差額支給」を求め、第2次全道統一行動日を設定し、たかいを進める。



全日本自治団体労働組合 北海道本部
〒060-0806 札幌市北区北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 佐々木直人

大気汚染が深刻化している。北京市では、PM2.5の濃度が日本の基準の約10倍に達し、道内にも影響を与えているとマスコミを賑わしている。

朝風

平洋を流れ北アメリカ大陸の西海岸を汚染し、現在も汚染し続けているが、報道記事は目に見えない。中国への優越感を持ち出し、批判をするが、自国の政策批判はしない報道各社。安倍首相のもと情報操作が明らかに強まっている。

告の取り扱い方針の閣議決定を行った。これにより、国の給与法改定については、1月4日から予定される通常国会において議論され、実際の改定は2月実施となること

具体的な闘争日程は、1月27日～2月9日を重点交渉期間に、2月10日を道本部統一行動日とし、早期の2015賃金確定を追求する。

えさきたかし奮闘記 人の明日を咲かせよう③



宮城県で活動する自治労復興支援隊を激励

現地を回り、被災地の思いを代弁

2011年3月11日、東日本大震災により未曾有の被害が発生しました。発生当時、参議院決算委員会が審議されていたが、以後の国会日程はすべてストップする

秋の臨時国会では、大震災からの復興財源確保特別措置法案について初めての本会議代表質問に立ち、被災地の思いを代弁し質問しました。

被災地で情報弱者となつている視覚障がい者のために、民放含めニュースなどに手話通訳を付けるなどの取り組みも行いました。通常国会もお盆前まで延長となり、緊急的な補正予算など震災復興のための施策が審議されました。



宮城県本部の佐々木書記長(当時)から報告を受ける

全労済自治労共済本部 北海道支部からのお知らせ

年末・年始 もしもの自動車事故の場合... (24時間365日受けています)

☆じちろうマイカー共済にご契約の方は... 【事故の受付】 ☎0120-0889-24 【ロードサービス】 ☎0120-889-376

☆自治労自動車共済にご契約の方は... 【事故の受付・ロードサービス】 ☎0120-810-625

◆報告する内容◆ ①契約者名、②運転者名、③契約番号(もしくは車両ナンバー)、④事故発生日時・場所、⑤相手方の名前・連絡先電話番号、⑥事故状況、⑦その他

2016地方本部別春闘討論集会

Table with 3 columns: Location (e.g., 石後, 狩志), Dates (e.g., 1月15日(金)~16日(土)), and Contact/Notes (e.g., 定山溪, 旭川市).

JICHIRO スケジュール

- 12月 21日(月) 「要求と提言」対道交渉(札幌市) 28日(月) 道本部旗納め 1月 4日(月) 道本部旗開き 8日(金) 道本部春闘討論集会(～9日、札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:minnade 組合員専用ページは パスワード:danketsu2013



# 12.8北海道集会 民主主義・立憲主義 崩壊の危機



集会には500人が参加した=12月8日、札幌市・自治労会館



沖縄の現状から、安倍政権の問題点を指摘する松本さん

12月8日、札幌市・自治労会館で「辺野古新基地建設反対! 『戦争法』廃止! 12・8北海道集会」が開かれ500人が参加した。

## 『代執行』は理論崩壊

琉球新聞編集局長兼報道本部長で論説委員の松本剛さんが「沖縄から見る民主主義の危機」を題し、講演した。

松本さんは「翁長雅志知事による辺野古新基地の埋め立て承認の取り消しは沖縄の民意を反映し、公約を全うする当然の選択だったが、安倍政権は知事の取り消しの撤回を求める是正勧告を出し、取り消し自体を『違法』として、地方自治法に基づく『代執行』訴訟を起した。沖縄の民意

を一顧だにせず、知事の権限を剥奪する強権発動にほかならない」と述べたうえで、「国の施策と対峙した地方自治体に対し、話し合いを放棄し、首長の権限を奪う『代執行』を繰り返すのは政権のモラルハザード(倫理崩壊)そのものだ」と痛

烈に批判した。最後に、沖縄県民は政府が決めた以上、外交・安保施策の犠牲になれという差別『新たな琉球処分』に等しい状況にある。日本の民主主義、立憲主義、地方自治が崩壊の危機に瀕している」と訴えた。



熱心に講演を聞く参加者



辺野古基地ゲート前で抗議する人を排除する機動隊

## オキナワ 平和の旅 二度と戦争はダメ

12月7日〜9日、自治労青年女性オキナワ平和の旅が開かれ、北海道から8人が参加した。

過去の歴史を現地ですべて報告活動をおこなって平和の意識を高める取り組みとしてはいけなさと感じた」といった声が出された。日本の平和が脅かされるようにしている現在、過去の悲惨な実態を風化させず、伝えていくことの必要性や平和闘争の重要性を改めて感じる旅となった。

## 権利を最大限活かそう

道本部現業公企都市交評議会は12月5〜6日、札幌市・北農健保会館で「現業公企都市交セミナー」を開き、29単組・総

支部96人が参加した。講座1として根本・道本部賃金労働部長が「人事評価制度の導入にむけて、現業公企交通職場の課題」と題して講演した。根本次長は、「人事評価制度は、本来の目的を労使交渉で確認し、制度設計にも関わり協議・修正していくことが重要。現業・公営企業職員の賃金労働条件は団体交渉で決定する事となっており、その権利を最大限に活かし、取り組みを進めてほしい」と強調し

た。講座2では福村・二七〇町農政課長が「地域の公営・公共交通を考えた」と題して講演した。福村・課長は二七〇町での「スクール・福祉・生活路線バス」から「デマンドバス」となっている経緯や事例について説明したうえで、「デマンドバス運行の基本は住民の生活の質向上にあり、地域を知れば知るほど地域公共交通の重要性を認識する」と述べた。

## 忙中余話

道本部執行部の一員として、12月から新たに専任生活に入った。改めて職場の理解と単組のご支援に感謝するとともに、自分の担当任務である組織強化・拡大を中心に、すべての自治体・公共サービス労働者のために最大限の力を尽くしたい。

さて、近年、胸が痛くなるような話が多い。貧困のなかで、あるいは介護に疲れ、親を伴侶を、子どもを手にかけてしまったニュースなどを聞く

## 『マイカー共済』に切り替えない

【網走地方本部発】北見市労連青年部では「マイカー共済に興味はあるが、内容がよくわからない」「掛金の試算をしてみたい」といった声が

か、スマホ画面をスクリーンに映しての説明があり、参加者自身もスマホを操作して「マイカー共済」の掛金試算を行いました。

参加した30人の仲間からは「現状を確認することができ、共済について考える良いきっかけになった」「マイカー共済への切り替えについても検討したい」との声があり、有意義な学習会となりました。

講師の市労連豊田書記次長からは制度説明のほ

今回マイカー共済の学習会でしたが、ほかの共済制度も継続的に学習活動を進めていきたいと思

ます、自らの任務である組織の強化・拡大の運動を進めるなかで、しっかりと労働組合と社会変革の必要性を伝えていきたい。(瀬上)

「マイカー共済」の掛金試算を

参加した30人の仲間から

「マイカー共済」の掛金試算を

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記

講師の市労連豊田書記